

希望坂(北中だより)

第10号 令和2年9月11日

みやき町立北茂安中学校 校長 森田 直樹

学校教育目標

「知性・感性・耐性」を
自らたかめる生徒の育成

〒849-0113 みやき町大字東尾 4435

TEL:0942-89-2008 Fax:89-2079



◇若さあふれる体育大会◇



9月5日(土)は第74回の体育大会でした。台風の影響が心配でしたが、30分開始を早めて午前中にすべてのプログラムを終えることができました。

開会式では、「2つの台風の合間をぬって、体育大会をなんとか開催できることに感謝したいです。大自然の動きの前では人間の力は本当にちっぽけです。しかし、その中でも努力していくところに人間の価値があります。今大会のスローガンは『粉骨砕身』。その言葉通り、みなさんはコロナ禍の中、工夫をして努力して準備をしてきてくれました。本日は、しなやかで、たくましく、そしてさわやかに若い力を発揮してください。」とあいさつしました。

閉会式の講評では時間短縮のため触れませんでしたでしたが、それぞれのプログラムに、工夫と対策が盛り込まれていました。

「全員リレー」は、どの学年も走る順番に工夫を凝らしていました。チームとして最大限の力を出すための工夫だと思いました。2年生のバトンパスには努力のあとが見られました。

「レクに駆ける」は、生徒会が内容を定める種目です。バットを使って3回転のあと、空き缶を3段に立て、最後はくじを引いて3種のボールを運んでゴール。先生たちの飛び入り参加もありました。

2年生の「嵐 Arashi」や1年生の「ギョギョギョ」では、密集のおそれのある場面で、マスクや手袋が使われていました。3年生の「百足繚乱」でもマスクと手袋が使用され、さらに走る距離を例年の半分に縮めての実施でした。どの学年でも熱い戦いが繰り広げられ、ドラマチックでした。

「ダンス・応援合戦」は、黄団がトップバッターです。コミカルな振付と笑顔がとても印象的でした。声も良く出ており、体育大会を本当に楽しんでいるなと感じました。次の赤団は、ダンスの隊形移動に工夫があり、一生懸命に動いて間に合わせようとする姿が感動的でした。また、ニュージーランドのラグビーで有名なハカを取り入れた応援は圧巻でした。最後は青団でした。ダンスのラインのそろい方やジャンプの高さに練習の成果が出ていました。応援でも隊形や振付に統一感があり素晴らしかったです。

成績発表では、総合優勝「赤団」(3年2組、2年1組、1年3組)、ダンス部門及び応援部門優勝「青団」(3年1組、2年2組、1年1組)となりましたが、どの団にも優勝トロフィーをあげたい内容だったと思います。解団式でのリーダーの言葉に、さわやかな達成感が込められており、今後の行事や学習が楽しみになってきました。

応援していただいた保護者の皆様には、コロナ禍の中、さまざまなお願いに対応していただきありがとうございました。

◇みやき町からのいただきもの◇

手作りマスクの5枚入りセット(写真左)を新型コロナ対策の一環として、町から頂きました。製作はふるさと振興協会とのことです。災害用非常食の缶入りパン(写真右)は災害についての教育の一環として、総務課から頂きました。生徒にそれぞれ配布いたします。ありがとうございました。

